

令和5年度 京都桂病院臨床ニーズ発表会 発表ニーズ一覧

No.	診療科/所属部署	ニーズ	現状の問題点など
1	経営企画室	効率の良い動線を導き出してくれるAI	医療現場では業務が煩雑化しており、効率のよい動線を選択できないことが多い。そこで、経由するポイントから最短の動線を導き出すAIがあれば、業務効率がUPするばかりでなく、患者さんの満足度も上がると考えられる（薬の調剤や外来受診患者）。
2	臨床工学科	心臓植込み型電気デバイス（CIEDs）の現場ニーズに沿った遠隔モニタリングデータ管理+ワークフロー管理ソフト	CIEDsの遠隔モニタリングを行う患者が年々増加しており、その患者管理やデータの閲覧業務が非常に煩雑かつ膨大な量となっている。また取得データの臨床現場での活用方法、円滑な業務を行うためのシステムがない。 閲覧業務：各メーカー（全5社）のWebサイトへログインし、各患者のデータを確認しなければならない。
3	緩和ケア科	患者、医療者双方にフレンドリーなベッド柵	患者視点：心理的圧迫感の強い外観。装着や取り外しの際に生じる振動が不快。身体があたると痛みや外傷を生じる。 医療者視点：重い、開閉操作が硬い、脱着にコツが必要。凹凸や関節が多く清掃しにくい。
4	リハ科	リハビリテーション業務管理表	急性期医療におけるリハビリの業務は多岐に渡る。業務量の均一化が難しく、メンバーからは不満の声が聞こえた。20~30件/日の新規患者があり、割り振りに難渋する。その他、患者業務以外（カンファレンス、身体測定、書類作成等）が業務に反映されづらい。
5	薬剤科	薬の副作用を気にしなくてもよい食品	内服薬のなかには食品との相性が悪く、食べることが禁止されているものがある。薬の開始に伴い内服を優先してもらうことで今まで普通に食べられていた食品を制限することで一定程度患者に苦痛を強いていた。例：CYP3A4 グレープフルーツ（ジュース）、ワーファリン（納豆）
6	薬剤科	創傷部位をきれいに洗える洗浄機	抗がん剤による副作用での爪囲炎や創傷部位は洗浄が必要である。洗浄には流水や細かい泡にした洗剤等を用いて手洗いで行うが、不十分であることがしばしばである。特に爪囲炎においては複数箇所（手足）の洗浄が必要となるがひとつひとつ洗浄するには時間と手間が非常にかかるため、セルフケア（洗浄）をしない→保清できず→状態は悪化している状況が散見される（高齢者では背中が曲げられずできない）。また高齢者においては手指のケアが行き届いておらず、不衛生である。
7	薬剤科	おむつ交換を簡便に苦痛なくできるアイテム	医療や介護において、排泄ケアは必須であり、生きていく限り生涯必要となるケアのひとつである。 専門職である看護師であっても状況によっては排泄ケア（特に排便ケア）時に苦痛（臭い、見た目）を伴う可能性があり、素人が行うことによる大変さは想像を絶するものがある。 特に、認知症既往のある患者においては、在宅での家族による介護が必要となる。便失禁により周囲に与える嫌悪感や申し訳なさなど臭い対策が非常に重要となる。
8	リハ科	簡易足底板	股関節疾患で左右の足の長さに違い（脚長差）がある症例は足底板を用いて脚長差の補正を行う。ミリ単位のブロックを使用して脚長差を確認し、ウレタンを用いた足底板を作製するが、歩いて評価できる足底板がないため、実際の歩行場面での評価は完成後に行っている。完成後の修正は、完成までの時間が延びること以外に別費用がかかるなどの問題が生じる。評価用の簡易足底板があれば解決される。